

総務省 新 ICT 利活用サービス創出支援事業 メタデータ情報基盤構築事業  
「 国際シンポジウム メタデータ情報基盤の将来を考える 」  
[ 国際シンポジウム開催報告 ]



日 時 : 平成 22 年 12 月 8 日(水) 13:30~17:00  
会 場 : インフォコム株式会社 神宮前オフィス 会議室  
主 催 : メタデータ情報基盤事業検討会

【 プログラム 】

1. オープニング
2. 基調講演
3. パネルディスカッション(前半)
4. 休憩
5. パネルディスカッション(後半)
6. 閉会

【 ご案内 】

「総務省 新 ICT 利活用サービス創出支援事業 メタデータ情報基盤構築事業」(代表提案者:国立大学法人筑波大学)は、図書館、博物館、美術館、公文書館、研究機関、民間出版社等の様々な機関が利用するメタデータ(情報検索システムの検索対象となるデータを要約したデータ群)の記述規則や語彙の情報を収集し、デジタルコンテンツ提供者やデジタルコンテンツを利用したサービス提供者等へ一元的に提供する情報基盤を整備する事で、メタデータの相互運用性と利用性の高度化を進め、ICT を活用した新しいサービスの創出を目指すプロジェクトです。本プロジェクトの一環として 12 月 8 日に国際シンポジウムを開催いたしましたのでご案内いたします。

メタデータ情報基盤構築事業  
事務局長 小林 昭夫

## 1. オープニング

主催者側挨拶 : 筑波大学大学院・図書館情報メディア研究科 教授 杉本 重雄

来賓挨拶 : 総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 総括補佐 松田 昇剛 様

プロジェクトの概要説明 : インフォコム株式会社 デジタルアーカイブシステム部

テクニカルクリエイショングループ 課長 鳥越 直寿

資料: [メタデータ情報基盤構築事業プロジェクトの概要説明資料: 鳥越直寿 (PDF)]

## 2. 基調講演

筑波大学大学院・図書館情報メディア研究科 講師 永森 光晴

「メタデータスキーマレジストリについて」(Introduction to Metadata Schema Registries)

資料: [基調講演資料:永森 光晴(PDF)]

## 3. パネルディスカッション(前半)

司会 : 杉本 重雄

<講演者>(敬称略、順不同)

**Thomas Baker(Dublin Core Metadata Initiative)** 資料: [講演資料:Thomas Baker(PDF)]

「Dublin Core: Linked Data の環境における基盤的メタデータ」

(Dublin Core: basic metadata in a linked data environment)

**Daniel Chudnov(onebiglibrary.net)**

「Web における Linked Data」(Linking Library Data in the Web)

**Corey A Harper(New York University)** 資料: [講演資料:Corey A Harper(PDF)]

「Metadata Registries: 語彙の管理と流通サービス」

(Metadata Registries: Vocabulary Management and Dissemination Services)

**Liddy Nevile(La Trobe University)** 資料: [講演資料:Liddy Nevile(PDF)]

「複数の領域にまたがるメタデータの利用:ローカルな要求への特化とグローバルな相互運用性」

(Cross-domain metadata use: local specificity and global interoperability)

**武田 英明(国立情報学研究所)** 資料: [講演資料:武田 英明(PDF)]

「Linked Data における日本の課題」(Challenges for Linked Data in Japan)

**Stuart Weibel(Consultant)** 資料: [講演資料:Stuart Weibel(PDF)]

「グローバルなメタデータのインフラ:抜け落ちているものはあるか?」

(Global Metadata Infrastructure: Are there missing pieces?)

4. 休憩

5. パネルディスカッション(後半)

モデレータ : 杉本 重雄

パネリスト : Thomas Baker、Daniel Chudnov、Corey Harper、Liddy Nevile

武田 英明、Stuart Weibel、永森 光晴 各氏

6. 閉会

閉会挨拶 : 筑波大学大学院・図書館情報メディア研究科 教授 杉本 重雄

**【 講演者、パネリスト紹介 】(敬称略、順不同)**

**永森 光晴 (筑波大学)**

DCMI Registry WG に参加し、DCMI Metadata Schema Registry の開発をおこなった。メタデータスキーマやメタデータの相互運用性・再利用性の向上に関心を持つ。

**Thomas Baker (DCMI)**

DCMI の Chief Information Officer として、Dublin Core の標準化活動の中心的役割を果たしてきた。最近では Semantic Web における Linked Data に積極的に参加し、図書館における Linked Data の利用に関する活動を活発に行っている。

**Daniel Chudnov (onebiglibrary.net)**

図書館における新しい技術的取り組みを進めてきたライブラリアンかつプログラマー。Library Linked Data に関して活発な取り組みを進めている。code4lib の共同創始者の一人。

**Corey Harper (ニューヨーク大学)**

ニューヨーク大学におけるメタデータサービスライブラリアン。図書館における情報システムのデータ分析に従事し、より進んだデータモデルやメタデータの相互運用性を支援するための Web 指向のプロトコルの開発に関心を持つ。

**Liddy Nevile (La Trobe 大学)**

10 以上のメタデータプロジェクトに参加した経験を持つ。現在、ISO/IEC JTC1 のメンバーであり、DCMI や Standards Australia といった組織と連携して活動している。

**武田 英明 (国立情報学研究所)**

日本を代表する Semantic Web、オントロジー研究者。Semantic Web、Social Web、Community-based System 等に関心を持つ。

**Stuart Weibel (コンサルタント)**

OCLC 研究所に長く所属し、Dublin Core 開発の最初の 10 年間はプロジェクトのまとめ役として活動し、国際標準として広く知られる Dublin Core を作り上げた。永続的識別子やデジタルキュレーションに関心を持つ。

**杉本 重雄 (筑波大学)**

研究領域は、デジタルライブラリ、デジタルアーカイブとメタデータ。特にデジタルアーカイブやメタデータの相互運用、長期利用に関心を持つ。